

子育て王国そうじゃ 総社っ子プラン

総社市次世代育成支援行動計画(後期計画)

◆平成24年度進捗状況及び平成25年度実施予定について

基本目標1 地域における子育ての支援

基本施策1 保育サービスの充実

重点事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
通常保育事業の充実	こども課	保護者が働いているなど家庭において十分保育することができない児童を家庭の保護者に代わって保育します。待機児童の解消のため、本計画の目標年度までに保育所の新設を行うとともに、幼稚園での預かり等、児童の受け入れ先の確保を図ります。	待機児童解消のため、既存12保育所に加え、23年度で私立1園、24年度で更に私立1園の新設開所を推進しました。また、22年度からは幼稚園での預かり保育を順次開始し、24年度においては4園で事業を実施しました。	1,225,440,419	平成23・24年度と2年連続して新設保育所を整備開所し、受入定員を180人増員したことで、24年4月以降の待機児童はゼロを達成しています。25年度においては、幼稚園での預かり保育を5園で実施しながら、待機児童の再発防止を図ります。
延長保育事業の充実	こども課	保育時間の延長に対する保護者のニーズに対応するため、通常の保育時間（おおむね11時間程度）を超えて1時間程度の延長保育を実施します。保護者の就労状況や生活時間の多様化に対応するため、保育所をはじめ、新たな受け入れ施設について、延長保育事業の実施に努めます。	保護者の多様な就労形態に応じた保育サービスを提供するため、市内全保育所において延長保育事業を実施しました。また、23・24年度に開所した新設保育所2園においても、それぞれ、運営開始と合わせて延長保育事業を実施しました。	63,411,000	保育時間延長に係る保育ニーズに対応するため、平成25年度においても、全保育所において延長保育事業を実施します。
休日保育事業の充実	こども課	日曜・祝日などの保護者の仕事などにより休日に保育に欠ける児童を保育します。既設、新設の保育所等において、事業の実施に努めます。	保護者の就労形態に応じた保育サービスを提供するため、私立保育所1園において、休日保育事業を実施しました。	1,860,000	保護者の保育ニーズを把握しながら、日曜・祝日の就労等により児童が保育に欠ける際の休日保育を提供します。
障がい児保育事業の充実	こども課	保護者の労働・疾病などの事由により、家庭での保育に欠け、かつ集団保育が可能な心身に障がいがある就学前児童に対し、保育所において、専門家や専門機関と連携しながら保育を行うことにより、心身の発達を促します。	市内14保育所のうちの1園を特別支援拠点施設と位置付け、支援の質向上を図るとともに、障がい児を受け入れる私立保育所に対して補助金を交付しました。また、発達支援アドバイザーを派遣し、専門家の指導を仰ぎながら、個々の対象児童に応じた保育を実施しました。	11,430,000	発達支援アドバイザーを各保育所に派遣し、各園の保育士が専門家から指導を受けることで、障がい児保育の質向上を図ります。

一般事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
保育士などの研修の充実	こども課	研修を計画的に実施し、保育所職員の専門性を高める知識や技術の習得を図ります。	総社市保育協議会の共催により、市内全保育所の保育士を対象とした研修会を計画的に開催することで、共通認識を持たせるとともに、保育の質向上も図りました。	340,000	保育所保育士を対象とした研修会や勉強会を開催し、専門性を高める知識や技術の習得を図ります。
保育所増改築など事業	こども課	保育需要に対応するため、地域の状況に応じた定員の見直しや保育施設の整備を検討します。	待機児童解消のため、平成23年度中に民間保育所1園の新設整備を行い、24年4月1日に開所しました。	0	今後の保育需要の動向を注視し、必要に応じて整備を検討します。
保育所民営化推進事業	こども課	保育サービスの向上とコスト削減を図るため、公立保育所の民営化や業務の委託等について、調査検討を行います。	喫緊の課題となっていた待機児童の解消を念頭に置いて、コスト削減のための公施設民営化と民間資力の活用による施設整備を比較検討し、民間保育所の新設推進を図りました。	0	保育サービスを損なうことなく経費削減を図れる方策について、継続して調査検討を行います。

項目	担当課	現況（平成21年度）	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定	平成26年度目標
通常保育事業の充実	こども課	保育所数 12か所、保育所総定員 1,125人	保育所数 14か所、保育所総定員 1,305人	-	保育所数 14か所、保育所総定員 1,305人	13か所、1,215人
延長保育事業の充実	こども課	延長保育実施園 12か所	延長保育実施園 14か所	-	延長保育実施園 14か所	13か所
休日保育事業の充実	こども課	休日保育実施園 1か所	休日保育実施園 1か所	-	休日保育実施園 1か所	2か所

基本施策2 地域における子育て支援サービスの充実

重点事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
子育てカレッジの開設	こども課	岡山県立大学と協働して、親子が集い、子育てについての情報交換や学びの場として、子育てカレッジを開設します。	保育ステップアップ講座、子育て支援ネットワーク研修会を通して地域の子育て支援サービス提供者に対する質的向上を図ると共に、チュッピーひろばを開設し、音楽会を開催することで親子交流や子育てに関する相談実施・情報発信を行いました。さらに、24年度は県主催で開催された晴れの国「おかやま子育てカレッジ」シンポジウムで情報発信を行いました。	400,000	保育ステップアップ講座、子育て支援ネットワーク研修会を通して地域の子育て支援サービス提供者に対する質的向上を図ると共に、チュッピーひろばを開設し、音楽会を開催することで親子交流や子育てに関する相談実施・情報発信に努めます。
病院における乳幼児健康支援一時預かり事業（病児・病後児保育施設）の拡充	こども課	病気のため集団保育が困難な児童を、仕事などにより家庭で保育できない保護者に代わって、一時的に預かり保育をします。	平成22年4月 三宅内科小児科院内に開設した病児保育室「ほっとチュッピー」について、24年度では406名の登録、延583名の利用があり、保護者の利便に供しました。	7,646,000	病児保育室の充実を図るため、受託者との委託契約の内容を改めるとともに、保護者に対する事業内容の周知・利用促進を図ります。
保育所における一時預かり事業	こども課	専業主婦などの育児疲れの解消、緊急時の保育など、一時的に家庭での育児が困難となった児童を保育所で保育します。既設、新設の保育所等において、事業の実施に努めます。	保育所等に入室していない児童で、保護者の疾病・入院等一時的に家庭での保育が困難となった児童に対し、私立保育所5園において、一時預かり保育事業を実施しました。	11,070,000	平成24年度新設開所園においても、運営開始と合わせて一時預かり事業を開始したところであるが、引き続き、当該事業の利用需要を注視してまいります。
放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の拡充	こども課	基幹保護者が仕事などで家庭にいない小学校低学年児童の育成指導のため、地域住民の積極的な協力を得て、遊びと生活の場を提供し、心身ともに健全な児童の育成を図ります。地元からの要望により、市内全小学校区での実施を目指します。	市内15小学校のうち13の小學校区に放課後児童クラブを設置。運営については、保護者、民生・児童委員、学校、地域の代表者等で組織する運営委員会へ指定管理委託をしています。保育資質の向上を目指し、運営委員長や指導員を対象とした研修会等も開催しました。	69,880,330	各クラブの健全な運営をサポートするとともに、障がい児受け入れに対しても、指導員加配のための支援を行います。また、現在クラブを配置していない小学校区についても、民生委員・学校長等から要望を聴取してまいります。
幼稚園預かり保育事業の充実	学校教育課	幼稚園で、希望する園児を対象に、教育時間終了後に教育活動として預かり保育を実施します。今後は、預かり保育指導員を配置し、試行を経て、本格実施に向けて取り組んでいきます。	「総社市預かり保育試行実施要領」「総社市預かり保育指導員配置要領」に基づき、総社北幼稚園、山手幼稚園、井尻野幼稚園、常盤幼稚園において、預かり保育を試行実施しました。	312,550	4園の試行実施における成果と課題、他の地域の保護者のニーズから、新たに総社幼稚園を加え、5園で試行実施します。
「子育て支援総合コーディネーター」事業	こども課	多様な子育て支援サービスに関する情報を一元的に把握し、保護者への情報提供、ケースマネジメントを行う子育て支援総合コーディネーターの配置を検討します。	平成24年度において、子育て支援総合コーディネーターの配置はできませんでした。	-	子育て支援サービスの情報把握や情報提供を担う子育て支援総合コーディネーターの配置を検討します。

一般事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
ファミリーサポートセンター事業の充実	こども課	育児の援助を受けたい方と行いたい方が相互に援助を行うことにより、就労者が仕事と家庭を両立し、安心して働くことができるよう支援するとともに、専業主婦家庭、父子・母子家庭なども含めたすべての子育て家庭を支援します。	NPO法人 保育サポート「あい・あい」に委託して実施しました。 コーディネート数 4837 件 利用会員数 537 人 提供会員数 68 人 サポート利用実人数 753 人	7,385,900	今年度も、引き続きNPO法人 保育サポート「あい・あい」に委託して実施します。
子育て短期支援事業（ショートステイ）	こども課	保護者の疾病やその他の理由により家庭での養育が一時的に困難になったとき、児童養護施設などにおいて緊急一時的に児童を養育、保護します。	実績はありませんでしたが、吉備中央町にあるみのり園と短期入所契約を締結しました。	0	昨年度と同様、みのり園と短期入所契約を締結して実施します。
ガイドブックとホームページによる子育て支援情報の提供	こども課	「子育て応援BOOK」や「子育てバリアフリーマップ」を活用し、子育て支援情報を積極的に提供します。	「子育て応援BOOK」は、母子手帳交付時、転入時に配布し、情報を提供しました。	0	今後も、「子育て応援BOOK」を配布し、ホームページ、フェイスブックを活用して、積極的な情報発信に努めます。
家庭児童相談員による相談の充実	こども課	専門的な立場から子育てについて情報提供、相談を行うとともに相談受付体制の充実を図ります。	専門的な立場から子育てについて情報提供、相談を行うとともに相談受付体制の充実を図りました。平成24年度相談件数140件	2,793,408	専門的な立場から子育てについて情報提供、相談を行うとともに相談受付体制の更なる充実を図ります。
幼稚園における子育て支援活動事業	学校教育課	未就園児親子登園、子育てサークルの支援、子育てに関する相談や情報提供を促進します。	未就園児親子登園、地域ボランティアによる子育て支援等、各園の実情に応じて実施しました。	0	各園の地域支援団体と連携を図り、子育てに関する情報と場の提供に努め、子育て支援に取り組みます。

目標指標						
項目	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定	平成26年度目標
病院における乳幼児健康支援一時預かり事業（病児・病後児保育施設）の拡充	こども課		0か所	1か所	—	1か所
保育所における一時預かり事業	こども課		4か所	5か所	—	5か所
放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の拡充	こども課		12か所	13か所	—	13か所
幼稚園預かり保育事業の充実	学校教育課		0か所	5か所	—	5か所
子育て短期支援事業（ショートステイ）	こども課		0か所	1か所と受入契約	—	1か所と受入契約

基本施策3 子どもの居場所づくり

重点事業						
事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定	
「つどいの広場」事業	こども課	主に乳幼児を育てる親子の交流や世代間交流を行う「つどいの広場」の設置を促進します。現在、市内3か所で事業を行っていますが、利用者が増加するなど、実情に応じて増設を検討します。	平成21年4月よりチュービーひろばを開設し市内4か所で事業を行ないました。また、平成23年度より気軽につどいの広場が利用出来るよう、つどいの広場の運営スタッフが母子保健事業開催場所へ向き親子と交流を行ないました。	14,516,000	平成25年度においても引き続き4か所においてつどいの広場事業を実施し、親子がつどいの広場事業を身近に感じ気軽に利用出来るようつどいの広場の運営スタッフと連携していきます。	
「地域子育て支援センター」事業の充実	こども課	地域の保育所による、地域の子育て家庭に対する施設の開放などを促進します。	私立保育所5園において、地域子育て支援センター（センター型）としての施設開放や、地域に向いた地域支援活動を実施した。また、広報紙等により、事業内容の周知や利用促進を図りました。	37,000,000	現在、地域子育て支援センター事業を実施している5施設については、25年度においても引き続き事業を実施するとともに、地域性も考慮し、翌年度以降の増設も検討します。	
総合的な子育て支援センターの設置の検討	こども課	総合的な子育て支援センターの設置について検討していきます。	総合的な子育て支援センターの設置について検討できませんでした。	—	子ども・子育て支援制度の枠組みの中での設置を検討します。	
図書館での絵本の読み聞かせ事業の充実	生涯学習課	乳幼児を対象に絵本の読み聞かせを行うとともに、楽しく過ごせる環境づくりを行います。行事として定着させ、内容の充実を図ります。	月5回の読み聞かせ事業を行い、延べ913人の参加者がありました。	—	引き続き、読み聞かせ事業を行い、更なる内容の充実を図ります。	
学校施設開放事業	生涯学習課	スポーツ振興や地域のコミュニティ、世代間交流の場を提供するとともに、子どもの主体的活動の促進を図ります。	小学校13校、中学校4校で95団体がスポーツ活動を行っていました。	—	庶務課で行っている学校開放も含め、今後も継続して実施します。	

一般事業						
事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定	
保育所園庭開放事業の充実	こども課	保育所に入所していない親子に園庭を開放し、遊び場の提供や保育者・子どもたちとの交流の機会を提供し、子育て支援に努めます。	私立保育所2園において、認可保育所へ入所していない親子を対象に、施設を開放して保育体験を受けさせる事業を実施し、私立保育所5園においても、地域の子育て家庭を対象に、園庭開放等子育て支援センター事業を行い、入所児童との交流、発達状況の確認、保護者への相談・助言を行いました。	510,596	保育所体験事業実施に係る国庫補助は平成25年度から廃止となりましたが、24年度まで事業継続してきた2保育所においては、事業規模を縮小して実施します。また、地域子育て支援センター事業については、継続実施するとともに、将来的な事業拡大も検討します。	
親子ふれあいプラザ、ラッコの部屋、親子ふれあいルームの充実	こども課	親子ふれあいプラザ、ラッコの部屋、親子ふれあいルームの用具を乳幼児が使用しやすいものにする等、施設の充実にも努めます。	親子ふれあいプラザについては、利用者が安心して利用することの出来るよう、防火設備の改修や照明機器の修繕を行いました。	54,861	施設を快適にご利用いただくため引き続き、施設の維持管理に努めます。	

未就園児親子登園事業の充実	学校教育課	親子が気軽に遊び、ふれあい、子育てに関する情報を交換する場や機会を提供し、子育て支援に努めます。	各園において未就園児親子対象の広場を実施し、幼稚園での生活を知らせたり、遊び、園児との触れ合いの機会、子育ての相談や子育ての情報の提供をしたりしました。	253,716	未就園児の保護者同士、未就園児と園児が交流したり触れ合ったりする場を提供したり、相談に応じたりして、安心して子育てができるように支援します。
子どもの居場所づくり	生涯学習課	子どもが地域で遊びやスポーツ、学習を通じて自主性や創造性を伸ばし仲間づくりができるよう、公共施設等を拠点とした、また地域の人材を活用した子どもの居場所や遊び場づくりを検討します。	公民館や指定管理者であるきよね夢てらすが子どもの居場所づくりや遊びを進める講座等を実施しました。	-	引き続き公共施設等を拠点とした活動を実施します。

目標指標

項目	担当課	現況(平成21年度)	平成24年度進捗	平成25年度実施予定	平成26年度目標
「つどいの広場」事業	こども課	3か所	4か所	-	4か所 5か所
「地域子育て支援センター」事業の充実	こども課	5か所	5か所	-	5か所 5か所

基本施策4 子育て支援のネットワークづくり

重点事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
主任児童委員、児童委員との連携	こども課	優しく子どもを生み育てる環境づくりを地域ぐるみで推進する主任児童委員や、区域を担当する児童委員と連絡を密にし、行政との連携を強化していきます。	年6回の主任児童委員部会や各幼稚園において「子育て懇談会」を開催するなど、行政と主任児童委員との連携を密にしました。	0	今年度も幼稚園との子育て懇談会や年6回の部会の中で視察研修や他主任児童委員との交流など、行政と主任児童委員との連携を強化していきます。
愛育委員・栄養委員との連携	こども課	子育てに係る事業や、地域で妊婦、乳幼児の声かけ訪問を積極的に行う愛育委員・栄養委員と連絡を密にし、行政との連携を強化していきます。	愛育委員会や役員会などに出席し、母子保健事業の紹介を行うとともに、地区ラッコ広場や市乳児健診の協力依頼をお願いしました。愛育委員と連携を密にし、乳幼児の声かけや見守りをお願いしました。	-	愛育委員会や役員会に出席し、母子保健事業の紹介を行うとともに、愛育委員や栄養委員と連携を密にし、地区ラッコ広場等子育てに関する事業を開催します。
ボランティア、NPO法人の育成	こども課	地域の団体やNPOと協働しながら、総社市での子育て支援に関わるボランティア、NPO法人の設立・支援を促進します。	ファミリーサポートセンター事業やつどいの広場事業などNPO法人に委託し、協働して子育て支援策に取り組みました。また、地域全体で子育てを支援する取組や事業に助成する「子育て王国そうじゃ市民応援プラン補助金」制度を創設しました。	278,342	昨年度に引き続き、ファミリーサポートセンターやつどいの広場事業などをNPO法人に委託し、協働して子育て支援策に取り組みます。また、地域の団体やNPO法人の子育て支援事業に対し、助成します。
大学生等を対象にしたプレーリーダーの育成	生涯学習課	岡山県立大学と協働で、子どもの遊びを支えるプレーリーダーの育成を目指します。	放課後子ども教室の中で、岡山県立大学より講師を招いてダンス教室を開催しました。	-	引き続き、岡山県立大学と協働事業を開催し、プレーリーダーの育成を目指します。

一般事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
親子クラブ活動の充実	こども課	市内17の親子クラブの会員と協働しながら、世代間の交流、家庭養育活動、事故防止活動など地域に即した活動を充実し更なる支援を行います。また、親子クラブ間の会費も充実させてい	市内17の親子クラブに399世帯が加入し活動しています。年2回の理事会での情報交換や、研修会を通して、ともに育ち合う関係作りが出来てきました。	1,450,000	年2回の理事会、研修会を開催し、情報交換の場、子育ての悩みを話し合う場として支援していきます。
地域協働型の運営による子育てグループ活動の充実	こども課	地域協働型の運営による子育てグループ活動の充実を図ります。	地域を拠点に子育てサポーターや地域住民が子育て中の親子と交流しながら、多様な活動を通して、子育てを楽しみながら、互いに支え合う子育てサロンを行いました。	-	今年度も、子育てサロンを実施します。また、子育て支援団体やNPOの活動を助成する制度を実施します。

子育て支援連絡会の開催	こども課	市内のあらゆる子育てグループと子育て支援の関係者が集い、総合的に連携、協力し子育て支援に取り組むための子育て支援連絡会を開催します。	「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会、支援者ネットワーク研修会など子育て支援に取り組む関係機関が集い、子育て支援について協議したり、情報交換をしました。	—	今年度も、「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会、支援者ネットワーク研修会など子育て支援に取り組む関係機関が集い、子育て支援について協議したり、情報交換します。
	生涯学習課	市内のあらゆる子育てグループと子育て支援の関係者が集い、総合的に連携、協力し子育て支援に取り組むための子育て支援連絡会を開催します。	そうじゃ子ども応援事業運営委員会を開催し、総社市放課後子どもプラン等についての話し合いを実施しました。	—	引き続き、今年度もそうじゃ子ども応援事業運営委員会を開催します。
子ども会連合会との連携	生涯学習課	地域の団体と連携しながら、異年齢で行われる子ども会活動の充実と円滑な運営を図ります。また、若年指導者の育成に努めます。	総社市子ども会連合会に対し補助金を交付しました。	200,000円	引き続き、地域団体と連携しながら、子ども会活動の充実と円滑な運営を支援していきます。
スカウト協議会との連携	生涯学習課	総社市スカウト協議会と連携し、ボーイスカウト・ガールスカウトの組織強化と活動を支援します。	総社市スカウト協議会に対し補助金を交付しました。	33,000円	引き続き、総社市スカウト協議会と連携し、ボーイスカウト・ガールスカウトの組織強化と活動を支援していきます。
スポーツ少年団との連携	生涯学習課	小学生をスポーツに親しませ、心身ともに健康な児童を育成するため、スポーツ少年団の活動を支援します。	総社市体育協会の下部組織として補助金を交付しました。	995,000円	引き続き、小学生をスポーツに親しませ、心身ともに健康な児童を育成するため、スポーツ少年団の活動を支援していきます。
体育協会との連携	生涯学習課	スポーツ活動を振興し、心身ともに健康な児童を育成するため、体育協会の活動を支援します。	市のスポーツ事業（3事業）を委託し、連携をとりながら事業を実施しました。	5,818,000円	引き続き、事業を委託して心身ともに健康な児童を育成するための体育協会の活動を支援していきます。
専門的知識を持ったボランティアのコーディネート	生涯学習課	専門的知識を持った人材の把握とコーディネートをしていきます。	総社市子ども教室コーディネーター連絡会を開催し、専門的知識を持ったボランティアの情報交換等を行いました。	—	引き続き、連絡会を開催しボランティアの情報交換を実施します。

基本施策5 子どもの人権尊重と権利擁護

重点事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
「みんなで子育て」意識の醸成	こども課	すべての子どもが家庭、地域から愛され、心豊かに育まれながら健やかに成長することを目的として、「総社市子ども条例」を制定しました。子ども条例がまち全体に浸透し、子育て支援の機運が高まるよう、子ども条例の周知・啓発を行います。	副読本「総で見える 総社市子ども条例」を活用した授業の実践を小・中学校に依頼し、小学校の社会科の授業で活用されました。	—	今年度も、さまざまな機会を捉えて、「総社市子ども条例」の周知・啓発に努めます。
子どもの権利啓発事業	こども課	子育て支援の関係者と協働で、子どもの権利に関する啓発活動を実施するとともに、児童虐待の防止のための知識の普及に努めます。	11月の児童虐待防止月間を中心に、パンフレット配布や啓発用キャラクターによる普及啓発を行いました。	799,120	購入した備品等を利用し、昨年度に引き続き啓発活動を実施し、児童虐待防止のための知識の普及に努めます。
	学校教育課		虐待問題への対応に関する教職員研修を実施しました。		虐待問題への対応に関する教職員研修を実施します。
	生涯学習課		子育て支援の関係者と協働し、子どもの権利に関する啓発活動を実施しました。		継続して実施します。

一般事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
そうじゃ子ども会議の設置	こども課	子どもの視点を大切にしたいまちづくりを進めるため、子どもが主体的に参画する「そうじゃ子ども会議」を設置し、子どもの意見をまちづくりに反映させます。	8月29日に子ども議会を実施しました。議会前の7月30日、31日には子ども議員全員で東日本大震災の被災地である宮城県を行政視察を行い、被災地支援などの提案がなされました。さらに、市長へ「総社市防災週間の制定」「子ども版広報そうじゃの発行」「観光パンフレットの作成」の3つの提言を行いました。	1,704,200	平成25年度の実施予定はありません。

基本施策6 子育てに伴う負担の軽減

重点事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
父子家庭への支援	こども課	父子家庭に対して、子どもの健やかな成長のための支援に努めます。	父子家庭においても児童扶養手当及びひとり親医療制度を周知しました。		今年度も引き続き制度周知を行い、児童扶養手当を支給し支援します。
小児医療費給付事業	こども課	小児医療費給付事業を拡充し、中学校3年生までの入院部分について無料化に努めます。	小学校までの通院、中学校までの入院の医療費自己負担分を助成。医療費257,758,750円	269,586,720	現制度を維持していくために、増え続ける小児医療費を啓発等により抑制していくことに努めます。

一般事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
児童手当支給	こども課	子どもの健やかな成長のため、中学校修了時までの子どもの養育者に手当を支給します。	6月分からは児童手当として実施し、所得制限も開始しました。児童の健やかな成長のため、中学校修了時まで養育者に手当を支給しました。	1,223,550,126	児童の健やかな成長のため、中学校修了時までの児童の養育者に手当を支給します。
助産施設入所者措置事業	こども課	経済的な理由により入院助産を受けることができない妊産婦に対し、助産施設への入所措置を行います。	平成24年度は、該当者3名について措置を行いました。	1,210,020	平成25年度についても、該当するものについては入所措置を行います。

目標指標

項目	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定	平成26年度目標
小児医療費給付事業	こども課	通院・入院費無料 (小学校修了時まで)	小学校修了時まで通院費無料 平成22年度から中学校修了時まで入院費無料	269,586,720	小学校修了時まで通院費無料 中学校修了時まで入院費無料	小学校終了時まで通院費無料、中学校終了時まで入院費無料

基本目標2 支援が必要な子ども等への支援

基本施策1 児童虐待防止対策の充実

重点事業		実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
子育て	担当課				
育児不安の親を対象にしたグループミーティングの開催	こども課	育児不安の軽減を図り、育児への活力とするため、育児不安の強い親同士のグループミーティングを開催します。	親自身の自己肯定感や安心感を高め、自身で困難感を発信し、対応できるような親になれるよう支援することで、虐待のリスク低下と発生予防を図りました。少しずつ、行動変容がみられ、育児に前向きに向きあえるようになってきました。対象者・参加者：5名	0	子育てに対する感情を具体的に引き出し、参加者自身が目標として表現できるように努めます。また、目標を意識しながら参加でき、自身が変化を感じとって自己評価できるよう支援します。対象者5名。
	こども課	乳児健診などの場において、育児不安の強い親と要支援の親に対して心理専門職による個別相談や保健師による継続的な支援を実施し、虐待の防止を図ります。	訪問や乳幼児健診などの場において、育児不安の強い母親に対して心理専門職による個別相談や保健師による継続的な支援を実施し、虐待の防止を図りました。	280,800	子どもと向き合えない母親や家庭不和に悩む母親等、継続支援の必要な母親に対して心理専門職によるカウンセリングを行い、虐待防止を図ります。
家庭児童相談員を中心とした相談援助事業	こども課	家庭児童相談員を中心に、学校や地域の主任児童委員、児童委員と連携を図りながら、子どもや保護者の支援を行います。	家庭児童相談員による相談や訪問業務によって、学校や教育委員会、主任児童委員などの関係機関と連携を図りながら支援を行いました。	-	今年度においても、学校や教育委員会、主任児童委員などの関係機関と連携を図りながら支援を行います。
	学校教育課		家庭児童相談員や主任児童委員と連携して、児童虐待や生徒指導の問題に対応しました。	-	家庭児童相談員や主任児童委員と連携して、児童虐待や生徒指導の問題に対応します。
要保護児童対策地域協議会の充実	こども課	要支援児童の適切な保護を図るため、必要な情報の交換を行うとともに要支援児童等に対する支援の内容に関する協議を行います。また、事業が増加するにあたり、事業の増加に見合った適正な職員の配置等を検討していくとともに、関係機関との円滑な協力・連携体制づくりに取り組みます。	平成24年度においても、代表者会議・実務者会議・個別ケース検討会議の3層構造で関係機関と連携を密にしながら要保護児童の早期発見・適切な対応等に努めました。	-	平成25年度においても、昨年度同様に代表者会議・実務者会議・個別ケース検討会議の3層構造で関係機関と連携を密にしながら要保護児童の早期発見・適切な対応等に努めます。
	学校教育課		要支援児童の適切な保護を図るため、必要な情報の交換を行うとともに要支援児童等に対する支援の内容に関する協議を行いました。	-	要支援児童の適切な保護を図るため、必要な情報の交換を行うとともに要支援児童等に対する支援の内容に関する協議を行います。

一般事業

事業		実施内容	平成24年度進捗状況	平成25年度実施予定	
児童虐待への専門的対応のためのシステムづくり	こども課	生徒指導サポートチーム事業等において、岡山県立大学教員との連携を図ります。	生徒指導サポートチーム事業等において、岡山県立大学教員との連携を図ることができませんでした。	-	生徒指導サポートチーム事業等において、岡山県立大学教員との連携を検討します。
	学校教育課		学校園やこども課、主任児童委員、児童相談所、保健所等との連携・協力体制の整備を図りました。	-	学校園やこども課、主任児童委員、児童相談所、保健所等との連携・協力を一層進めます。
虐待をしている親と虐待をされている子どもに対する支援の充実	こども課	虐待を受けている子どもへの支援だけでなく、虐待の再発防止のための親への支援を充実していきます。	家庭児童相談員を中心に、保健師や地域などの関係機関を交えながら、子どもはもちろんその親への支援も行いました。	-	今年度も、家庭児童相談員を中心に、保健師や地域などの関係機関を交えながら、子どもはもちろんその親への支援も行います。
	学校教育課		虐待を受けている子どもへの支援だけでなく、虐待の再発防止のための家庭への支援の充実を図りました。	-	虐待を受けている子どもへの支援だけでなく、虐待の再発防止のための家庭への支援の充実を図ります。

基本施策2 ひとり親家庭等への支援

重点事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
高等技能訓練促進費事業の導入	こども課	母子家庭を対象に、特定の資格や技能の取得に際して、生活費の負担軽減や訓練給付金の支給を行います。すでに導入している母子自立支援プログラム策定事業及び自立支援訓練給付金事業とあわせて、総合的な支援に取り組みます。	平成24年度は母子家庭自立支援訓練給付金を1件支給し、母子家庭の就労支援を行いました。また、制度を案内し、児童扶養手当受給者を対象に自立へ向けた周知を行いました。	18,000	本年度も予算計上を行い、児童扶養手当受給者を対象に自立へ向けた周知を行います。

一般事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
総合的な自立支援	こども課	関係機関と綿密な連携を図りながら、生活支援（ひとり親家庭を対象にした「母子家庭等日常生活支援事業」）、就業支援、養育費の確保などに積極的に取り組みます。	児童扶養手当受給者に対して、就業支援や養育費の確保などの相談業務において行いました。	2,365,675	「福祉から就労へ」の支援事業としてハローワークと緊密な相互連携と協働に基づく就労支援を実施し、児童扶養手当受給者の経済的自立を目指します。
ひとり親家庭への相談事業	こども課	母子家庭・父子家庭を対象に生活一般、就業相談を中心に母子自立支援員が相談に応じます。	児童扶養手当受給者に対して、就業支援や養育費の確保など、母子自立支援員が相談業務に取り組みました。	2,365,675	今年度においても、児童扶養手当受給者に対して、就業支援や養育費の確保など、母子自立支援員が相談業務に取り組みます。
母子福祉協力員との連携	こども課	総社市母子福祉協力員と連携し、ひとり親家庭に対する支援を充実していきます。	母子福祉協力員制度は平成22年度で廃止されました。	0	—
母子生活支援施設入所事業	こども課	保護の必要がある母子家庭に対して、母子生活支援施設に入所し、自立ができるよう支援します。	平成24年度は、保護の必要がある母子家庭はありませんでした。	0	保護の必要がある母子家庭に対して、母子生活支援施設に入所し、自立ができるよう支援します。
母子緊急一時保護事業	こども課	夫等から暴力により心身の安全が脅かされ、緊急に保護する必要がある女性及び同伴する児童を一時的に保護し、避難所に対し居室及び日常生活用品を提供するとともに、自立に向けた支援を行います。	DV等の相談を受けた母子に対して、女性相談所やウィズセンターを紹介を行いました。	0	今年度も夫等から暴力により心身の安全が脅かされ、緊急に保護する必要がある女性及び同伴する児童を一時的に保護し、避難所に対し居室及び日常生活用品を提供するとともに、自立に向けた支援を行います。
児童扶養手当支給事業	こども課	18歳を過ぎた最初の3月31日までの児童を監護するひとり親世帯等に手当を支給します。	H Pや広報紙などで周知し、ひとり親世帯への経済的な助成を行いました。	202,730,890	今年度もH Pや広報紙などで周知し、ひとり親世帯への経済的な助成を行います。
母子福祉資金貸付事業	こども課	母子家庭に対し、経済的自立の助成と生活意欲の助成を図るために必要な資金を貸し付けます。	母子家庭に対し、経済的自立の助成と生活意欲の助成を図るために必要な資金の貸付を行いました。（県事業）	0	今年度も、母子家庭に対し、経済的自立の助成と生活意欲の助成を図るために必要な資金を貸し付けます。
ひとり親家庭等への医療費給付	こども課	ひとり親家庭等への医療費を助成し、健康保持と福祉の増進を図ります。	ひとり親家庭等医療費受給資格を69世帯に新規認定し、312世帯を資格更新しました。	13,068,937	ひとり親家庭に医療費を助成することで親と子どもの健康保持を支援します。
遺児奨励金の支給	こども課	小・中学校に在籍する遺児に対し遺児奨励金を支給します。	死亡見舞金11件、入学奨励金7件、卒業奨励金7件（1件につき12,000円）を支給しました。	300,000	入学奨励金、卒業奨励金、死亡見舞金の支給を行います。（1件12,000円）
交通遺児援助金の支給	学校教育課	小・中学校に在籍する交通遺児に援助金を支給します。	小・中学校に在籍する交通遺児7名（小学生2名、中学生5名）に援助金を支給しました。	16,150	小・中学校に在籍する交通遺児に援助金を支給します。

基本施策3 障がいのある子どもへの対策

重点事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
相談支援事業（相談支援センター「ゆうゆう」）	福祉課	障がいのある子どもの日常生活に関する相談を受け付けるとともに、福祉サービスに関する情報提供やさまざまな相談支援を行います。	社会福祉協議会に委託し、事業を行いました。（相談人数49人、相談件数のべ5388件）	12,000,000	対象児の保護者へ事業の周知を行います。※平成25年度より「障がい者基幹相談支援センター」に名称変更しました。
障がい児保育事業	こども課	保護者の労働・疾病などの事由により、家庭での保育に欠け、かつ集団保育が可能な心身に障がいがある就学前児童に対し、保育所において、専門家や専門機関と連携しながら保育を行うことにより、心身の発達を促します。保育士の研修や巡回指導を行い、専門性の向上を図ります。	障がいのある児童に対しては、個々の状況にあった心身の発達を促すことが有効であるため、保育所保育士を対象とした研修会を開催するとともに、専門の発達支援アドバイザーによる保育所巡回指導を行い、障がい児保育に関わる保育士への指導を行いました。	495,000	保育所保育士を対象とした発達支援に係る研修会を開催するとともに、保育所へのアドバイザー派遣を継続し、障がい児に対する更なる保育の充実を図ります。
発達相談事業	こども課	集団鑑診において発達に遅れが見られ経過観察となった子どもを対象に、健やかな発達を促すため、発達相談を実施します。	小児神経発達専門医による育児や発達の専門相談を毎月1回行い、発達の経過をみながら適切な医療や療育へとつなげていきました。	—	乳幼児健診の経過観察だけではなく、保護者や保育園・幼稚園から発達面で気になる子どもを対象に、健やかな発達を促すため、発達相談を実施します。また保護者に寄り添い、育児不安の軽減に努めます。
療育相談事業（総合検査・療育相談指導教室<総社ベック>）	こども課	乳幼児の心身の発達の遅れについて相談に応じるとともに、早い時期から、療育指導訓練を行います。	要観察児健康診査や乳幼児健診で気になる子どもが総合検査を受診することで、療育の開始につなげました。PECではブレ療育として利用者が多く、本来のデイの受け皿のない人の場にもなりました。総合検査5回40人、PEC年30回334人（延べ）	1,121,000	総合検査を5回、ベックを30回実施予定。乳幼児健診や相談の場で早期に療育をすすめられるよう、支援を行います。

一般事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
移動支援事業	福祉課	屋外での移動に困難がある障がい児に対し、ホームヘルパーなどを派遣することにより、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等社会参加のための外出を支援します。対象者：視覚障がい児、全身性障がい児、知的障がい児	屋外での移動に困難がある障がい児に対し、ホームヘルパーなどを派遣することにより、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等社会参加のための外出を支援しました。事業者数19箇所 実利用者数37人 年間延利用時間2293時間（18歳未満178時間）	6,345,336	本年度も個々の現状を踏まえた上で、支給量の適正化に努めます。
日中一時支援	福祉課	在宅の障がいのある子どもに対し、日中における活動の場を確保し、障がいのある子どもの家族の就労支援及び日常的に介護している家族の一時的な休息を図ることを支援します。	在宅の障がいのある子どもに対し、日中における活動の場を確保し、障がいのある子どもの家族の就労支援及び日常的に介護している家族の一時的な休息を図ることを支援しました。事業者数28箇所 実利用者数185人（高校生以下122人）年間延利用回数7,345回（高校生以下5,948回）	35,647,743	本年度も時間単位の支給など、制度の見直しも含めて、支給量の適正化に努めます。
居宅介護（ホームヘルプサービス）	福祉課	障がいによって、日常生活を営むのに支障がある児童に対し、身体介護、家事援助などホームヘルパーによる日常生活の支援を行います。	障がいによって、日常生活を営むのに支障がある児童に対し、身体介護、家事援助などホームヘルパーによる日常生活の支援を行いました。障がい者（児）615件	—	昨年度と同様、障がいによって、日常生活を営むのに支障がある児童に対し、身体介護、家事援助などホームヘルパーによる日常生活の支援を行います。
児童デイサービス	こども課	障がいのある子どもに対し、通園の方法により日常生活における基本的動作の指導及び集団生活への適応訓練などを行います。	児童福祉法の改正により、H24年度から未就学児を児童発達支援、就学児を放課後等デイサービスと変更されました。また、県からの事務移譲により障害児通園施設についても児童発達支援として実施しました。	103,188,700	障害のある子どもに対し、日常生活における基本的動作の指導及び集団生活への適応訓練を行います。
短期入所（ショートステイ）	福祉課	障がいのある子どもを介護している方が、病気・出産・事故などによって一時的に家庭で介護できない場合や介護疲れを癒す場合などに、障がいのある子どもを一時的に施設で預かり、介護している方の負担の軽減などを図ります。	障がいのある子どもを介護している方が、病気・出産・事故などによって一時的に家庭で介護できない場合や介護疲れを癒す場合などに、障がいのある子どもを一時的に施設で預かり、介護している方の負担の軽減などを図りました。障がい者（児）152件	—	昨年度同様、障がいのある子どもを介護している方が、病気・出産・事故などによって一時的に家庭で介護できない場合や介護疲れを癒す場合などに、障がいのある子どもを一時的に施設で預かり、介護している方の負担の軽減などを図ります。

障害児福祉手当の支給	福祉課	在宅の重度障がいのある子どもを対象に、その重度の障がいのために生じる特別の負担の一助として手当を支給します。	広報紙に制度の内容を掲載し、制度の周知を図りました。平成24年度末の受給資格者は44人。	7,972,840	引き続き制度の周知を図り、対象児へ支給を行っていきます。
補装具の支給	福祉課	身体障がいのある子どもに対し、補聴器、義肢、車いすなどの補装具費(購入・修理)を支給します。	成長に合わせての修理・再支給など、子ども独自の理由を考慮し、支給しました。障がい児37件	8,065,849 (うち児2524971)	引き続き対象児の状況に応じて支給を行います。
障がい児日常生活用具給付等事業	福祉課	日常生活を営むのに支障がある、障がいのある子どもに対し、日常生活上の便宜を図る用具を給付または貸与します。	平成24年4月から、市民からの要望により人工内耳用電池を支給対象としました。障がい児18件	14,613,661 (うち児1342827)	対象者のニーズを注視しつつ、用具の給付を行います。
乳児家庭・養育支援訪問	こども課	乳児のいる家庭や、子育て家庭への訪問を行い、発育、栄養、生活環境、疾病予防などの相談に応じます。育児不安を和らげるため、訪問を行うスタッフの質の向上と確保を行いながら、訪問活動を行います。	こじんには赤ちゃん事業の訪問結果から継続訪問の必要な家庭や、特に支援の必要と思われる家庭に対して、保健師・助産師による家庭訪問を行いました。 平成24年度 養育支援訪問 乳児：83件(延べ) 幼児以上：185件(延べ) 妊婦：18件(延べ)	2,572,795	乳児のいる家庭や、特に支援の必要な家庭を訪問し、母親の育児不安の軽減に努めます。訪問を行うスタッフの質向上のため、研修会を実施します。
要観察児健康診査	こども課	健康診査の結果、経過観察を必要とする児童に対して、医師による健康診査を行い、その結果に基づいて適切な指導及び措置を行います。疾病等の早期発見・早期治療や育児不安の減少に努めます。	乳幼児健診の結果、経過観察を必要とする乳幼児に対して、医師による健康診査を行い、その結果に基づいて適切な指導を行いました。 平成24年度受診者数 乳児 22人(延べ) 幼児 104人(延べ)	606,420	乳幼児健診の経過観察だけでなく、保護者や保育園・幼稚園から発達面で気になる子どもの相談等により、小児神経発達専門医による診察を行うことで、適切な方向付けをし、早期発見、早期対応ができるように努めます。
障がいのある子どもの放課後児童クラブへの受け入れ	こども課	障がいのある子どもの放課後児童クラブへの受け入れを検討します。	各クラブに対して、障がいのある児童の積極的な受け入れを働きかけるとともに、受け入れのための指導員増員に係る支援を行いました。また、発達支援をテーマとした研修会の開催、特別支援員による巡回指導も行いました。	-	障がい児を多数受け入れるクラブに対しては、専任指導員の加配支援を行い、積極的な受け入れを促します。
特別児童扶養手当の支給	こども課	精神または身体に障がいがある子どもを養育している方に、手当を支給することにより福祉の増進を図ります。	精神または身体に障がいがある子どもを養育している方に、手当を支給することにより福祉の増進を図りました。 平成24年度 120世帯	-	今年度も精神または身体に障がいがある子どもを養育している方に、手当を支給することにより福祉の増進を図ります。
療育マネジメント事業	こども課	障がいのある子どもに関する情報の集約を図り、早期の療育支援及び利用者のニーズに合った支援を行うシステムを調査・検討します。	支援を行うシステムの調査・検討については出来ませんでした。	-	支援を行うシステムについては、必要に応じて調査・検討していきます。
地域におけるネットワークづくり	こども課	障がいのある子どもとその保護者を支援するためのネットワークを検討します。	幼稚園で主任児童委員による「子育て懇談会」において障がい児をもつ保護者に対してアドバイスを行いました。また、健診などで保健師へ相談することにより支援を行いました。	-	障がいのある子どもとその保護者を支援するための場所(ネットワーク)づくりを増進していきます。
就学指導の充実・障がい児指導の充実	学校教育課	障がいの特性と子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた就学指導及び特別支援教育を充実させます。また、教職員による保護者の相談についても適切な相談支援ができるよう努めます。	子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた就学指導や特別支援教育を行うため、関係機関と連携を取りながら巡回相談を行いました。より充実した特別支援教育のため、特別支援教育支援員や特別支援教育支援補助員を配置しました。保護者を対象とした進路相談会を開きました。	-	関係機関と連携を取りながら巡回相談を進めていきます。特別支援教育支援員や補助員を配置するとともに研修を行い、より充実した教育を行うことができるように努めます。保護者を対象とした進路説明会を開きます。

目標指標

項目	担当課	現況(平成21年度)	平成24年度進捗	平成25年度実施予定	平成26年度目標
障がい児保育事業	こども課	拠点か所 1か所	拠点か所 1か所	拠点か所 1か所	拠点か所 2か所

基本施策4 多文化共生への取り組み
重点事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
多文化共生事業の推進	人権・まちづくり課	多国の文化にふれ、互いに尊重し合う機会を支援するとともに、共に学べる生活環境の支援を行います。	・総社市コミュニティ連絡協議会及び総社ブラジリアンコミュニティ主催の国際交流イベントを開催し、子どもたちをはじめ、多国籍の市民の参加のもと、食などを通じての文化の体験等を行いました。 ・育児期母親が参加可能な託児付の日本語教室を実施しました。 ・小学校で、総社ブラジリアンコミュニティによる国際理解学習を実施しました。	5,946,401	引き続きコミュニティレベルの交流の機会を設けると共に、小学校等での国際理解学習も教育委員会との協力で実施し、多文化共生のまちづくりを推進します。
	こども課	多国の文化にふれ、互いに尊重し合う機会を支援するとともに、共に学べる生活環境の支援を行います。	多国の文化にふれ、互いに尊重し合う機会を支援するとともに、共に学べる生活環境の支援は実施できませんでした。	—	多国の文化にふれ、互いに尊重し合う機会を支援するとともに、共に学べる生活環境の支援を行います。

基本目標3 子どもや母親の健康の確保
基本施策1 母と子の健康づくりの推進

一般事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
母子健康手帳の交付	こども課	妊娠の届出をした妊婦に母子健康手帳を交付します。あわせてリーフレットなどを提供し、妊娠・出産・育児などに関する適切な情報提供を行います。また、医療機関等と連携をとり、適切な時期に妊娠届けがなされるように啓発していきます。	平成24年度は609件の妊娠届けがありました。全員に妊婦面接を行い、妊娠・出産・育児についての情報提供を行うとともに、不安の軽減に努めました。	74,130	妊娠届出時、保健師等による妊婦面接を全員に実施し、妊娠・出産・育児に関する情報提供を行うとともに、不安の軽減に努めます。
妊婦健康診査	こども課	胎児の異常を早期に発見し、早期に対応することにより、妊婦の健康の保持・増進と安全な出産を迎えるために妊婦健康診査を実施します。妊婦健康診査の重要性の周知に努めるとともに、医療機関との連携を図り、ハイリスク妊婦への関わりも強化していきます。	母子手帳交付時に受診券を交付し、県内の医療機関に委託して実施しました。(妊婦一般健康診査14回、超音波検査4回、血液検査2回、クラミジア抗原検査：一人当たりの助成額97,290円以内) H24年度 妊婦一般健康診査受診数(実)911人(妊)6375人、県外での里帰り出産や助産院での出産による償還給付件数 52件	47,284,000	妊婦の健康の保持・増進と安全な出産を迎えるために妊婦健康診査の費用助成を実施します。
妊婦訪問	こども課	妊婦及びハイリスク妊婦などへ訪問を行い、妊婦が安心して出産を迎えられるよう支援します。あわせて、訪問を行うスタッフの質の向上と確保に努めます。	医療機関からの診療情報提供や、妊婦面接で把握したハイリスク妊婦に対して保健師等による訪問を実施し、安心して出産を迎えることができるように支援しました。 H24年度 訪問実人員 11人(延べ26回)	—	妊婦面接からハイリスク妊婦を早期に発見し、医療機関等とも連携しながら安心して出産を迎えられるように支援します。
妊婦学級	こども課	妊娠、出産、育児など正しい知識を身につけ自信を持って育児ができるよう妊婦学級を行います。また、出産後の仲間づくりの場を提供し、妊婦学級の内容を更に充実させます。	現在市内3箇所で開催しているつどいの広場のうち、清音会場及び山手会場で月1回開催しました。	—	出産後の仲間づくりの意味もあり、今後もひろばでの妊婦学級を継続します。
両親学級	こども課	妊娠、出産、育児が父親、母親の愛情に育まれ、子どもたちが心身ともに健やかに育つよう、妊婦またはその夫を対象に講演会を開催します。また、出産後の仲間づくりの場を提供し、両親学級の内容を更に充実させます。	現在市内3箇所で開催しているつどいの広場のうち、天満原店・カワガ 総社店会場で月1回開催しました。	—	出産後の仲間づくりと家族で出産・育児を支えていくために、今後もひろばでの両親学級を継続します。
不妊に対する支援事業	こども課	不妊に対する情報提供(カウンセリングや相談機関の案内など)を行い、支援に努めます。	県や市の不妊治療費助成事業についての問い合わせが増加しているため、相談機関への案内を行いました。平成24年度不妊治療費助成事業実績(実)21件(妊)28件	2,446,000	今後も不妊治療費助成事業や相談機関の周知をし、支援します。また、併せて今年度も不育治療費助成事業も行い、支援します。

目標指標

項目	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定	平成26年度目標
母子健康手帳の交付	こども課	妊娠20週までに妊娠の届出をする妊婦94%	H24年度 99.1%	—	妊娠20週までに妊娠の届出をする妊婦が増加していますが、望まない妊娠や、外国人妊婦への対応が課題となっています。	妊娠20週までに妊娠の届出をする妊婦100%

基本施策2 保健、医療の支援

一般事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
小児救急医療体制の整備	健康づくり課	広域連携による救急医療体制、夜間の診療体制の充実を図ります。	小児の救急医療適正利用の啓発として、講演会や出前講座等を行いました。また、小学生までの児童のいる世帯にリーフレットやファイルを配布しました。 講演会 1回 72人参加 出前講座3回 80人参加	91,875	こどもの急病についての、出前講座を実施します。
新生児・乳幼児訪問	こども課	乳児のいる家庭や、子育て家庭への訪問を行い、発育、栄養、生活環境、疾病予防などの相談に応じます。育児不安を和らげるため、訪問を行うスタッフの質の向上と確保に努めます。	生後4ヶ月までの乳児のいる家庭への全戸訪問事業（こんには赤ちゃん事業）とあわせて実施しました。 H24年度 新生児訪問：実人員 121人（延べ127人） 乳児訪問：実人員468人（延べ540人） 幼児訪問：実人員93人（延べ187人）	3,735,941	乳幼児のいる家庭を訪問し、発育、栄養、疾病予防などの相談に応じ、育児不安の軽減に努めます。訪問従事者研修会を実施し、スタッフの質の向上に努めます。
健康相談事業	こども課	地域ぐるみで健やかに子どもを産み育てるため地域住民の自主的な活動や育児不安を持つ保護者への相談指導を推進します。	毎月1回、総社市保健センターで、0歳から就学前の幼児とその保護者を対象に、育児相談を行いました。 総社市保健センター参加者数：602人（延） また、市内11か所で幼稚園の園庭開放等に合わせ、地区で年間11回育児相談を実施しました。 地区参加者数：101人（延）	127,200	地域ぐるみで健やかに子どもを産み育てるため、またすこやかな乳幼児の育成と保護者の不安軽減がはかられるよう、地域住民の自主的な活動や保護者への相談指導を推進します。 育児相談：総社市保健センター年間12回 地区実施 年間 11回
乳幼児健康診査	こども課	医療機関で行う健診と市で行う健診（4か月児）があり、乳児の発育と栄養状態、運動発達などの異常や疾病を発見し、早期に適切な措置を行います。	H24年度受診者数 乳児健康診査：549人（対象者580人）に対して、医療機関で行う健診と市で行う健診（4ヶ月児）を実施しました。	5,689,430	H25年度においても医療機関で行う健診と市で行う健診（4か月児）において、乳児の発育と栄養状態、運動発達などの異常や疾病を発見し、早期に適切な措置を行います。
1歳6か月児・3歳児健康診査	こども課	医師、歯科医師などによる総合的な健康診査を行い、その結果に基づいて適切な指導及び措置を行います。	H24年度受診者数 1歳6か月児健康診査：555人（対象者586人） 3歳児健康診査：604人（対象者637人）に対して、健診を実施しました。	-	H25年度においても医師、歯科医師などによる総合的な健康診査を行い、その結果に基づいて適切な指導及び措置を行います。
未受診児への保健指導	こども課	乳児・1歳6か月児・3歳児健康診査の未受診児に対して、訪問や電話により状況把握に努め、健康診査を受けていない乳幼児については受けるよう勧奨します。通知や受診状況アンケートの送付等により、受診率の向上を図ります。	H24年度未受診者数 乳児健康診査31人 1歳6か月児健康診査31人 3歳児健康診査33人でしたが、訪問や電話により状況把握に努め、健診を受けるよう勧奨しました。	-	H25年度においても乳児・1歳6か月児・3歳児健康診査の未受診児に対して、訪問や電話により状況把握に努め、健康診査を受けていない乳幼児については受けるよう勧奨します。通知や受診状況アンケートの送付等により、受診率の向上を図ります。
歯科健康診査・保健学級	こども課	吉備歯科医師会の協力を得て、乳幼児を対象に健診・保健学級を行います。	吉備歯科医師会の協力を得て、2歳児を対象に小児歯科保健学級、3歳から小学2年生までを対象にたんぼぼ活動（歯みがき指導とフッ素塗布）を実施しました。受診児数 小児歯科保健学級：398人 たんぼぼ活動：子77人、親59人	679,810	吉備歯科医師会の協力を得て、2歳児を対象に小児歯科保健学級、3歳から小学2年生までを対象にたんぼぼ活動（歯みがき指導とフッ素塗布）を実施します。
予防接種の推進	こども課	乳幼児、小・中学生、高校生に対して予防接種を実施し、感染症の予防を図るとともに、個人通知を行い、予防接種の必要性と正しい知識の普及啓発に努めます。また、麻疹・風疹撲滅のため平成24年度までに予防接種を積極的に勧奨し、接種率を上げるよう努め、それ以外の予防接種についても接種勧奨を継続して行います。	乳幼児、小・中学生、高校生に対して予防接種を実施しました。また個人通知や広報等で予防接種の必要性と正しい知識の普及啓発に努めました。麻疹・風疹撲滅のため、市内小児科医及び学校等と協力し予防接種の積極的勧奨を行いました。 <麻疹・風疹の接種率> 第1期：101.1% 第2期：97.0% 第3期：-	172,185,121	乳幼児、小・中学生、高校生に対して予防接種を実施し、感染症の予防を図るとともに、個人通知を行い、予防接種の必要性と正しい知識の普及啓発に努め、未受診者に対しては勧奨を継続的に行います。また、H25年度からは、新たに水痘、おたふくかぜについて助成を図るとともに、他の予防接種についても、情報提供を行い、普及啓発に努めます。
周産期医療対策事業	こども課	多様化する母子保健の対応や適切な子育て支援の充実、周産期医療対策の充実を図るため、保健師等専門職の人材の確保や資質の向上に努めます。	赤ちゃん訪問や育児相談等の母子保健の充実を図りました。	-	H25年度においても、赤ちゃん訪問や育児相談等の母子保健の充実を図ります。
子どもの事故予防、心肺蘇生法の普及の啓発強化	こども課	乳幼児の家庭内における事故予防及び心肺蘇生などに関する正しい知識の普及啓発を強化します。	こんには赤ちゃん訪問時や乳幼児健診時に事故予防の啓発を行いました。	0	今後も継続して、事故予防の啓発を行っていきます。
小児救急医療電話相談	こども課	岡山県が行っている小児救急医療電話相談に関する情報を普及させます。	健康カレンダーに掲載や赤ちゃん訪問などで、小児救急相談電話の情報発信をきめ細かく行いました。	-	引き続き、小児救急医療電話相談に関する情報を普及していきます。

基本施策3 思春期保健指導の充実

一般事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
アルコール、薬物に対する知識の普及	健康づくり課	学校と連携を取りながら、アルコール依存、薬物乱用など、啓発指導の講演会などを開催します。また、地域においてあらゆる機会を通してパンフレットなどを配布し、正しい知識の普及啓発を行います。	ゲートキーパー講座(3回実施)の中で、自殺やうつ状態の気づきとなるアルコールや薬物についての知識の普及を行いました。	0	学校や町酒会と連携して、講座や講演会等を行い、アルコールや薬物についての知識の普及をしていきます。
歯科保健対策の推進	こども課	乳幼児期からの一貫した歯科保健教育や歯科検診などを行い、歯科保健対策の充実を図ります。	・1歳6か月健診及び3歳児健診時に歯科検診を行いました。また2歳児を対象に小児歯科保健学級を実施し、保護者及び乳幼児に、口腔の健康管理に関する正しい知識の習得と生活習慣を身につけることを呼びかけました。 受診児数：1歳6か月健診554人 3歳児健診602人	-	引き続き、乳幼児期からの一貫した歯科保健教育や歯科検診などを行い、歯科保健対策の充実を図ります。
喫煙防止教育の推進	こども課	たばこ対策アドバイザーによる乳幼児期からの喫煙防止教育を行います。地域においては、禁煙週間、世界禁煙デーを中心に禁煙キャンペーンを展開します。あらゆるライフステージにおいて、たばこの害を伝えていくとともに、妊娠・出産・育児を禁煙のきっかけとできるよう、子育て支援サービスの現場において普及啓発活動を強化します。	あらゆるライフステージにおいて、たばこの害を伝えていくとともに、妊娠・出産・育児を禁煙のきっかけとできるよう、子育て支援サービスの現場において普及啓発活動を強化しました。	-	あらゆるライフステージにおいて、たばこの害を伝えていくとともに、妊娠・出産・育児を禁煙のきっかけとできるよう、子育て支援サービスの現場において普及啓発活動を強化します。
発達段階に応じた性教育の推進	こども課	日常生活の中で、性に関する正しい知識を自然に伝えることができるような地域ぐるみの取り組みを推進するとともに、教育現場等とも連携をとり、性について地域で気軽に相談できるような場の確保に努めます。	中学生等が赤ちゃんとふれあい、命の大切さや親子の絆について学ぶ機会を与えられるように、つどいの広場等では随時受け入れる体制を作りました。	-	引き続き、日常生活の中で、性に関する正しい知識を自然に伝えることができるような地域ぐるみの取り組みを推進します。
こころの健康対策	こども課	保健師と学校保健委員会が連携・協力し、こころの健康について正しく理解を深めるよう取り組みます。また、関係者の情報を共有し、虐待や発達障がいの問題などにも対応できるよう協力体制を図ります。	保健師と教員やスクールカウンセラー等が必要に応じて連絡を取り合い、虐待や発達障がいの問題などにも対応できるよう協力体制を図りました。	-	引き続き、学校と連携し、こころの健康を切り口に、虐待や発達障がいの問題に取り組みます。
	学校教育課		市内小・中学校において、サクセスフル・セルフのレッスンを行い、児童生徒に自己肯定感、対人関係能力を身に付けさせることができました。	-	サクセスフル・セルフのレッスンを各校において実施し、児童生徒に自己肯定感や自己効力感、対人関係能力を身に付けさせます。
定期健康診断	学校教育課	学校保健安全法による定期健康診断を実施し、疾病の早期発見、早期治療に努めます。	平成24年6月までに、幼・小・中学校(園)で定期健康診断を実施しました。また、教職員については、夏季休業中に定期健康診断を実施。疾病の早期発見、早期治療に努めました。	9,837,046	学校保健安全法による定期健康診断を実施し、疾病の早期発見、早期治療に努めます。

基本施策4 食育の推進

重点事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
親子料理教室	健康づくり課	親子で食事をつくることで、親子のコミュニケーションを図り、食事の楽しさ、バランスのよい食事について学ぶ機会として、小学生とその親を対象に、総社市栄養改善協議会の協力を得ながら、親子料理教室を開催します。	平成24年度はおやこ料理教室を17地区で実施（参加者520人）。また、親子食育教室を1回（参加者56人）、チュッピー「地・食・べ」料理教室を1回（参加者70人）を実施しました。	-	親子で食事をつくることで、親子のコミュニケーションを図り、食事の楽しさ、バランスのよい食事について学ぶ機会として、小学生とその親を対象に、総社市栄養改善協議会の協力を得ながら、親子料理教室を開催します。
学校給食による食育の推進	学校教育課	子どもの心身ともに健やかな発育と健康生活に容与できるよう、安全・安心の学校給食を提供するとともに、よりよい食生活習慣の形成のために学校給食を通して食育を推進します。	旬を生かした季節感のある献立や、地域の食材を活用した行事食・郷土料理を取り入れました。また、学校給食共同調理場の職員が学校を訪問し、給食の状況を把握するとともに、食に関する指導を行いました。	-	子どもの心身ともに健やかな発育と健康生活に容与できるよう、安全・安心や食文化の伝承や環境に配慮した給食を提供します。またよりよい食生活習慣の形成のために学校給食を通して食育を推進します。

一般事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
母乳栄養の推進	こども課	母乳栄養は、栄養学的、細菌学的、消化生理学的見地、免疫、さらにスキンシップ、あごの発育など育児上の利点から最適の方法であるため、育児相談、こんにちは赤ちゃん訪問時、つどいの広場などにおいて、母乳栄養の推進に努めます。	育児相談、こんにちは赤ちゃん訪問時（全戸）、つどいの広場などにおいて、助産師を中心に相談指導をきめ細かく行い、母乳栄養の推進に努めました。 生後3か月までの栄養状況：母乳：329人、ミルク：84人、混合：136人	-	H25年度も母乳栄養は、栄養学的、細菌学的、消化生理学的見地、免疫、さらにスキンシップ、あごの発育など育児上の利点から最適の方法であるため、育児相談、こんにちは赤ちゃん訪問時、つどいの広場などにおいて、母乳栄養の推進に努めます。
離乳食・幼児食指導	こども課	乳幼児健診、育児相談時、つどいの広場などで集団と個別の離乳食・幼児食指導を行います。	乳幼児健診、育児相談時、つどいの広場などで、栄養士による集団と個別の離乳食・幼児食指導を実施しました。	-	引き続き、乳幼児健診、育児相談時、つどいの広場などで、栄養士による集団と個別の離乳食・幼児食指導を実施します。
生活習慣病予防のための指導・広報	健康づくり課	学校給食だより、保健だよりによる広報、親子料理教室を通じて、生活習慣病を予防するための指導・啓発を行います。	親子料理教室では、「野菜クイズ」や「旬の野菜」に関する媒体を用いて、食に関心を持たせるよう工夫し、楽しく勉強しました。また、「こども図書館フェスティバル」では栄養委員のコーナーを設置し、手作りおやつを試食や媒体を使って生活習慣病を予防するための啓発活動をおこないました。	-	学校給食だより、保健だよりによる広報、親子料理教室を通じて、生活習慣病を予防するための指導・啓発を行います。
	学校教育課		学校給食だより、保健だよりによる広報により、生活習慣病を予防するための啓発を行いました。また、学校給食共同調理場の栄養職員を講師とする親子料理教室を通して、保護者や児童を対象に生活習慣病を予防するための指導・啓発を行いました。	-	学校給食共同調理場からの学校給食だよりや各小中学校からの学校保健だよりによる広報により生活習慣病を予防するための指導・啓発を行います。また学校給食共同調理場の栄養士や栄養教諭を講師とする親子料理教室を実施して、生活習慣病を予防するための啓発を行います。

基本目標4 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備

基本施策1 子どもの生きる力の育成

重点事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
不登校対策事業	学校教育課	市内すべての小中学校に、協同学習、ピアサポート等のプログラムを導入し、不登校児童・生徒の減少を図ります。	教職員対象の不登校対策研修会を10回実施するとともに、ピア・サポート、SEL（社会性と情動の学習）、協同学習、品格教育等を実施しました。	1,371,520	教職員対象のだれもが行きたくなくなる学校づくり研修会を16回実施します。そのうち8回は、サテライト研修として市内8小中学校で授業研究を行います。 ピア・サポート、SEL（社会性と情動の学習）、協同学習、品格教育等を実施します。
スクールソーシャルワーカーの派遣	学校教育課	平成26年度までに、市内すべての小中学校に、スクールソーシャルワーカーを派遣できる体制を整え、学校や関係機関との連携強化や対応の迅速化を図ります。	岡山県教育委員会のスクールソーシャルワーカー活用事業について周知し、スクールソーシャルワーカーとの連携を図りました。	-	岡山県教育委員会のスクールソーシャルワーカー行動連携推進事業について校長会等で周知し、スクールソーシャルワーカーとの連携強化を図るとともに、学校の要望に迅速に対応します。
学校地域における読書活動の推進	生涯学習課	家庭、学校、地域、図書館がそれぞれの役割を果たしつつ相互に連携しながら読書環境の整備を進めていきます。	一部の公民館等の公共施設に図書を設置し、読書環境の整備を進めました。読書活動を推進する会を2回開催し連携を図りました。	-	今後も家庭、学校、地域、図書館が連携し読書環境の整備を進めます。

一般事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
退職した教職員の活用	学校教育課	学習の意欲と興味の上昇を図るため、退職した教職員を講師や支援員として活用します。	市内の小・中学校に非常勤講師として任用しました。	-	市内の小・中学校で非常勤講師や非常勤講師、生徒指導巡回員として任用しています。
保育所における苦情処理体制の充実	こども課	保育サービスに伴う利用者からの苦情の解決のため、保育所における苦情処理体制の充実を図るとともに、適切な運営を推進します。	保育サービスの提供を受ける利用者からの苦情に対応するため、民生児童委員等から第三者委員を任命し、苦情解決体制を整備しました。平成24年度の該当はありませんでした。	0	平成25年度においても、苦情処理委員会を設置し、適切な苦情解決に努めます。
幼保連携促進事業	こども課	施設の共有化、子育て支援事業の連携、合同研修の開催など、地域の実情や需要に応じた連携の促進を図ります。	清音幼稚園においては、幼稚園と保育所が施設を共有し、幼保一体的な施設としての運営を実施しました。また、子ども・子育て関連3法の成立公布に伴い、今後の市の方針について、福祉部局と教育委員会での協議を開始しました。	-	平成24年8月の子ども・子育て関連3法成立公布に伴い、27年度の施行を目指して、地方版子ども・子育て会議の開催、ニーズ調査等に着手します。
	学校教育課		清音幼稚園において、幼稚園と保育所の職員が施設を共有し、連携を図りながら運営しました。各園の実態に合わせて、園児の交流を行いました。	-	幼稚園と保育所の保育形態の相違を考慮しながら、職員研修や合同保育に取り組みます。
情操教育推進事業	こども課	幼稚園、保育所において、動物の飼育や植物の栽培を通じて豊かな心を育む教育を推進します。	各保育所の実情に応じ、可能な範囲で動物の飼育や植物の栽培を行い、豊かな心を育む教育を実施しました。	-	平成25年度においても事業を継続し、更なる情操教育の推進に努めます。
	学校教育課		各園において、季節の植物・野菜の栽培や動物や生き物の飼育、季節や栽培物に関する絵本の読み聞かせを行いました。	-	園外保育や植物栽培、動物飼育、絵本の読み聞かせを通して豊かな心を育む教育を推進します。
総合施設に関する研究	こども課	総合施設に関する研究を行うとともに、総合施設に関して市民の意見を聞くための懇談会を実施するよう取り組みます。	今年度は、総合施設に関する懇談会は行うことができませんでした。	-	地域の実情を把握しながら、総合施設に関する検討をします。
	学校教育課		今年度は、総合施設に関する懇談会は行うことができませんでした。	-	地域の実情を把握しながら、総合施設に関する検討をします。
教育相談室、家庭児童相談室における相談の充実	こども課	子ども本人や子育てに悩む保護者からの相談を受け、関係機関・団体との連携を図りながら問題解決にあたります。また、教育相談室の広報や、相談活動の充実にも努めることにより、不登校等の学校不応の未然防止を図ります。	平成24年度は、家庭児童相談室における相談件数は140件で、関係機関と連携を図りながら問題解決に取り組みました。	-	今年度も、学校や教育委員会、地域とも連携を密にししながら、相談業務の充実を図り、要保護児童の早期発見・適切な対応に取り組みます。
	学校教育課		子ども本人や子育てに悩む保護者からの相談を受け、関係機関・団体との連携を図りながら問題解決にあたるとともに、相談活動の充実にも努め、不登校等の学校不応の未然防止に努めました。	-	子ども本人や子育てに悩む保護者からの相談を受け、関係機関・団体との連携を図りながら問題解決にあたります。また、教育相談室の広報や、相談活動の充実にも努めることにより、不登校等の学校不応の未然防止を図ります。

幼稚園の3年保育の充実	学校教育課	子どもの健やかな成長と育児不安の解消を図るため、3年保育を行います。	各学年の発達段階に応じた保育指導や親子活動を通して、市内全18園で3年保育を進めました。	-	学年の発達に応じた指導、異学年・地域の人との交流、園行事等を通して3年保育の充実を図ります。
少人数、TT(ティームティーチング)による指導の推進	学校教育課	基礎学力を向上させるため一人ひとりに支援していきます。習熟度別クラスの編成方法や、指導法について研究を深め、より高い教育効果をあげるように努めます。	小学校では、算数等で習熟度別指導を実施し、児童一人一人の実態に応じた指導を進めました。協同学習も取り入れたことで、より高い教育効果を上げました。中学校では、英語や数学を中心に習熟度別クラスに編成し、個に応じたきめ細やかな指導を進めた上に、協同学習等の授業形態を工夫しました。	-	算数・数学や英語を中心に習熟度別クラスを編成し、個に応じた指導を進めると共に、TTの授業形態や協同学習をより効果的に取り入れた授業や指導法の改善・研究を進めていきます。
幼児教育センターの機能の充実	学校教育課	就学前教育を担う幼稚園の振興を図り、地域における幼児教育センターとしての機能の充実を図ります。	保護者や地域の人と連携を図りながら子育てを支援し、地域の核として幼児教育のセンター的な役割を果たすことができました。	-	各園の地域性を生かしながら、保護者や地域の人に幼稚園の機能や施設を開放し、保護者同士の交流・子育ての相談の場を提供します。
総合的な学習支援事業	学校教育課	総合的な学習は、生きる力を育むうえで大切な時間です。限られた時間で成果があがるよう取り組み内容の充実にも努め、各々の個性を尊重し、その能力を伸ばす教育を行います。	地域の特性や児童の興味・関心等に基づいた、創意工夫のある学習活動が行われた。地域ボランティアの活動など、学校・家庭・地域の連携を図った学習展開の工夫も見られました。	-	国際理解教育の視点を取り入れた学習活動を工夫し、異なる文化や人々に対する理解を深めるとともに、コミュニケーション能力を培う教育を推進します。
情報教育推進事業	学校教育課	小・中学校において、情報通信の機能や仕組みを利用できる能力を身につけさせる情報教育の充実を図ります。	学校教育を中心として、必要な情報を主体的に収集・処理・発信するなどの情報活用力の育成を図ることができました。	-	情報社会における正しい判断や望ましい態度を育てるとともに、情報社会で安全に生活するための危険回避の理解やセキュリティの知識・技能を身につけさせる情報モラル教育を推進します。
ホームステイ事業	学校教育課	中学生を海外派遣することにより、異文化にふれ、視野を広げるとともに、国際感覚を身につける体験学習を行います。また、市内の中学校とオーストラリアの学校との姉妹校縁組を結び、生徒の隔年での受け入れも検討します。	中学生を海外派遣することにより、異文化にふれ、視野を広げるとともに、国際感覚を身につける体験学習を行います。また、市内の中学校とオーストラリアの学校の生徒の受け入れもしました。	4,084,125	中学生を海外派遣することにより、異文化にふれ、視野を広げるとともに、国際感覚を身につける体験学習を行います。参加予定者と前年度の参加者と交流しながら充実した研修を行います。
スクールカウンセラー等活用事業	学校教育課	各中学校区にスクールカウンセラー等を配置し、生徒や保護者の悩みなどの相談を受けます。スクールカウンセラーやスクールサポーターが一層有効に活用されるよう研究します。	各中学校及び2小学校にスクールカウンセラー、西中学校にスクールソーシャルサポーターを配置し、生徒や保護者の悩みなどの相談に対応しました。だれもが行きたくなくなる学校づくり研修会において、スクールカウンセラー対象の研修も実施しました。	850,290	各中学校及び3小学校にスクールカウンセラー、西中学校にスクールソーシャルサポーターを配置し、生徒や保護者の悩みなどの相談に対応します。だれもが行きたくなくなる学校づくり研修会において、スクールカウンセラー対象の研修も実施します。
教職員の研修の充実	学校教育課	児童虐待、いじめ、不登校などへの対応に関する研修を充実させます。また、研修の内容、講師、時期、形態について更に工夫していきます。	だれもが行きたくなくなる学校づくり研修会を10回、いじめ問題等協議会を2回実施することを通じて、不登校やいじめ、児童虐待に関する教職員の理解と認識を深め、実践力の向上を図りました。	(再掲) 1,371,520	だれもが行きたくなくなる学校づくり研修会を16回、いじめ問題等協議会を2回実施することを通じて、不登校やいじめ、児童虐待に関する教職員の理解と認識を深め、実践力の向上を図ります。
ふれあい教室設置事業	学校教育課	不登校児童生徒を対象に、学校生活への復帰を目指した支援を行います。相談活動、体験活動、学習支援、訪問支援等さまざまな活動に継続して取り組みます。	ふれあい教室に臨床心理士3人を配置して、不登校児童生徒を対象に、学校生活への復帰を目指した支援を行いました。相談活動、体験活動、学習支援等様々な活動に継続して取り組みました。	684,655	ふれあい教室に臨床心理士3人を配置して、不登校児童生徒を対象に、学校生活への復帰を目指します。相談活動、体験活動、学習支援等様々な活動に継続して取り組みます。
ふれあいフレンド派遣事業	学校教育課	家庭にひきこもりがちな児童・生徒を対象に、ふれあいフレンドとして登録した学生を定期的に派遣し、遊びやふれあいを通じて児童・生徒の社会性や自主性の伸長を支援します。また、教職課程や心理学系の学生のいる大学との連携を一層密にし、ふれあいフレンドの学生を確保します。	家庭にひきこもりがちな児童生徒を対象に、ふれあいフレンドとして登録した学生を定期的に派遣し、遊びやふれあいを通じて児童生徒の社会性や自主性の伸長を支援しました。	19,000	家庭にひきこもりがちな児童生徒を対象に、ふれあいフレンドとして登録した学生を定期的に派遣し、遊びやふれあいを通じて児童生徒の社会性や自主性の伸長を支援します。
学校評議員の活用	学校教育課	小・中学校における学校運営について、校長の求めに応じて意見を述べる事ができる学校評議員を活用し、特色ある学校づくりに努めます。学校関係者評価委員を学校評議員が兼ねる形でより学校運営の改善につながる意見がうかがえるように努めます。	小・中学校における学校運営について、校長の求めに応じて意見を述べる事ができる学校評議員を活用し、特色ある学校づくりに努めました。学校関係者評価委員を学校評議員が兼ねる形でより学校運営の改善につながる意見が伺えるように努めました。	564,000	小・中学校における学校運営について、校長の求めに応じて意見を述べる事ができる学校評議員を活用し、特色ある学校づくりに努めます。学校関係者評価委員を学校評議員が兼ねる形でより学校運営の改善につながる意見が伺えるように努めます。

スポーツ教室等の事業	生涯学習課	スポーツ教室、オアシス運動、児童球技大会、吉備の里ふれあいウォークラリー等を行います。	スポーツ教室は市体育協会に事業委託し実施している。ウォークラリーは「レクリエーションクラブたんぼぼ」との共催。そうじゃわくわくフェスティバルは、スポーツ体験と科学体験の同時開催とし、相乗効果により多くの参加をいただきました。	876,146円	継続して、スポーツ教室、オアシス運動、児童球技大会、吉備の里ふれあいウォークラリー等を実施します。
青少年校外補導協議会	生涯学習課	青少年の指導、育成及び環境浄化に関する総合的な施策の樹立に必要な事項の調査、審議ならびに関係行政機関への連絡調整を図るとともに、校外補導協議会と密に連携をとり校外補導活動を実施していきます。	青少年の善行を助長しより健全な育成を図るため、審議委員会、善行表彰、講演会等を実施しました。	—	継続して、青少年の善行を助長し、より健全な育成を図るため、審議委員会、善行表彰、講演会等を実施します。
青少年育成センターにおける指導	生涯学習課	補導委員と連携を密にし、青少年の非行防止・更生指導を行います。	年間879回の補導を実施し、延べ2819名の補導委員が出勤しました。	—	継続して、補導委員と連携を密にし、青少年の非行防止・更生指導を行います。
青少年校外補導協議会への支援	生涯学習課	学校外における児童・生徒の補導及び研修、地区活動推進に対して助成します。	総社市青少年校外補導協議会に対し補助金を交付し活動支援を行いました。	655,000円	引き続き、学校外における児童・生徒の補導及び研修、地区活動推進に対して支援していきます。

目標指標

項目	担当課	現況(平成21年度)	平成24年度進捗	平成25年度実施予定	平成26年度目標
不登校対策事業	学校教育課	事業の導入を検討	教職員対象のだれもが行きたくなる学校づくり研修会を10回実施するとともに、ピア・サポート、SEL(社会性と情動の学習)、協同学習、品格教育等を実施しました。 (参考) 小学校児童一人当たり年間総欠席日数 3.30 中学校生徒一人当たり年間総欠席日数 4.98	(再掲) 教職員対象のだれもが行きたくなる学校づくり研修会を16回実施するとともに、ピア・サポート、SEL(社会性と情動の学習)、協同学習、品格教育等を実施します。	不登校児童・生徒の減少
スクールソーシャルワーカーの派遣	学校教育課	スクールソーシャルワーカーを講師とした校長研修を実施	岡山県教育委員会のスクールソーシャルワーカー活用事業について周知し、スクールソーシャルワーカーとの連携を図りました。	岡山県教育委員会のスクールソーシャルワーカー行動連携推進事業について校長会等で周知し、スクールソーシャルワーカーとの連携強化を図ります。	市内すべての小中学校にソーシャルワーカーを派遣

基本施策2 若い世代の親育ちの支援

一般事業		平成24年度進捗状況		平成25年度実施予定	
事業	担当課	実施内容			
男女共同参画啓発事業	人権・まちづくり課	お互いの人格を尊重し、性別役割分担意識が解消され、男女がともに仕事や家事・育児、地域行事などに参加していけるよう広報活動を推進します。	男女が互いの人権を尊重しつつ、ともに家庭、地域、職場等のあらゆる分野で協力する、真の男女共同参画社会の実現を目指し、講演会等を開催し、啓発活動を行いました。	441,265	男女が互いの人権を尊重しつつ、ともに家庭、地域、職場等のあらゆる分野で協力する、真の男女共同参画社会の実現を目指し、引き続き、講演会等を開催し、啓発活動を行っていきます。
子育て懇談会の開催	こども課	幼稚園に通う子どもの保護者を対象に、明るい家庭づくり、家庭における幼児教育の問題などについて講師を囲み懇談します。	主任児童委員が講師となって、幼稚園の保護者を対象に、育児に対する悩み等を相談し懇談しました。	0	今年度も、主任児童委員や家庭児童相談員が講師として、幼稚園の保護者を対象に、育児に対する悩み等を相談し懇談します。
子育てグループにおける親支援	こども課	子育てグループ活動において、子育て中の保護者が、発達段階に応じた子育てについて学び合います。	つどいの広場やラッコ広場等から発生した子育てグループに対して、随時相談にのったり、集まる場の提供を行いました。	0	つどいの広場やラッコ広場等から発生した子育てグループに対して、随時相談にのったり、集まる場の提供を行います。
家事・育児など男性対象講座の開催	こども課	市広報などによる意識啓発や情報提供、各種講座やセミナーなどの開催を検討します。	子育て王国そうじゃまちづくり実行委員会事業で、「育メン・育女プロジェクト」事業を行い、育児のスキルのアップにつなげました。	0	子育て王国そうじゃまちづくり実行委員会事業で、「家族であそぼ」事業を行います。
ふれあい体験事業	こども課	中高生を対象に、乳幼児とふれあう機会を提供し、生命の尊さを学ぶようにします。	「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会事業で、学生ボランティア募集事業を行っており、その中で、遊びの伝承講座や遊びの広場「いっしょにあそぼ！」などで乳幼児とふれあう機会を提供しました。	-	「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会事業で、学生ボランティア募集事業を行っており、その中で、遊びの伝承講座や遊びの広場「いっしょにあそぼ！」などで乳幼児とふれあう機会を提供します。
	学校教育課		小学校では、児童が総合的な学習の時間に幼稚園を訪問したり、学校行事に幼児を招いたりして、幼児の世話をすることを通じて、幼児とのふれあいを深めました。 中学校では、生徒が技術・家庭科の学習や職場体験学習で保育園・幼稚園を訪問し、保育体験等を通じて、幼児とのふれあいを深めました。 総社西中学校では、赤ちゃん登校日を実施しました。	-	総合的な学習の時間や職場体験学習等を通して、小・中学生と幼児がふれあう機会を設定します。
子育て講演会の開催	こども課	子育て中の保護者を対象に、発達段階に応じた子育てや家庭環境について考える講演会を開催します。	「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会事業で、講演会を開催しました。	-	子育て中の保護者を対象に、子育て支援や子育て環境についての講演会を開催します。
	生涯学習課		「子育て講演会」を年3回開催し、延べ68名が参加しました。	90,180	今年度も継続して、子育て中の保護者を対象に発達段階に応じた子育てや家庭環境について考える講演会を開催します。
親子のふれあいレクリエーション	こども課	幼児期の子どもと親を対象に、親子体操、創作活動などを通じて、親子のふれあいを深める親子のふれあいレクリエーションを開催します。	県大そうじゃ子育てカレッジ事業において、アートパフォーマンスやリズムダンス教室、親子で楽しむ音楽会を開催しました。	400,000	県大そうじゃ子育てカレッジ事業において、アートパフォーマンスやリズムダンス教室のほか、親子で楽しむ音楽会を行います。
	生涯学習課		「カブラで遊ぼう」「風船で遊ぼう」「笑顔で遊ぼう」と題し、年6回親子のふれあいレクリエーションを開催し、延べ132組の親子が参加しました。	112,295	継続して、幼児期の子どもと親を対象に、親子体操、創作活動などを通じて、親子のふれあいを深める親子のふれあいレクリエーションを開催します。
高間やまびこまつりの開催	商工観光課	高間キャンプ場において、さまざまな体験をしながら親子のふれあいを深める高間やまびこまつりを開催します。	高間やまびこまつり 平成24年7月22日(日)実施 299名の親子が参加し、高間キャンプ場において、さまざまな体験をしながら親子のふれあいを深めました。	400,000	300名の親子を募集し、高間キャンプ場において、さまざまな体験をしながら親子のふれあいを深める、高間やまびこまつりを開催します。

男女共同参画教育	学校教育課	お互いの人格を尊重し、性別役割分担意識が解消され、男女がともに仕事や家事・育児、地域活動などに参加していけるよう広報活動を行い男女共同参画意識を高める教育を推進していきます。また、指導資料の活用による授業の実践等を続けるとともに、学級経営や学校運営において男女共同参画社会の理念の具現化を図ります。	市内の小中学校で、ピアサポート活動などの互いの人格を尊重する教育を講じたことで、男女共同参画の視点に立って、違いを認め合える教育を進めることができました。	市内の小中学校で、ピアサポート活動などの互いの人格を尊重する教育を講じることで、男女共同参画の視点に立って、違いを認め合える教育を進めることを図ります。
子育てワークショップの開催	生涯学習課	子育て中の保護者が、子育てにおける家庭の役割や課題を学び合うワークショップを開催します。	ワークショップは実施してはいたないが、幼児学級の中で保護者が子育てにおける家庭の役割や課題について学びました。	引き続き幼児学級の中で学んでいきます。

基本施策3 地域との連携と人材活用

一般事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
水辺の教室の開催	環境課	水辺にすむ動植物の観察等を通じて、水質保全や自然保護の必要性を学ぶ水辺の教室を開催します。	水辺にすむ動植物の観察等を通じて、水質保全や自然保護の必要性を学ぶ水辺の教室を開催しました。平成24年7月28日（土）開催 39名参加	15,000	水辺にすむ動植物の観察等を通じて、水質保全や自然保護の必要性を学ぶ水辺の教室を開催します。平成25年7月27日（土）開催予定
自然学校の開催	環境課	1泊2日のエコキャンプを通じて、自然保護などの重要性を学ぶ自然学校を開催します。	1泊2日のエコキャンプを通じて、自然保護などの重要性を学ぶ自然学校を開催しました。平成24年8月25日（土）～26日（日）開催30名参加	80,000	1泊2日のエコキャンプを通じて、自然保護などの重要性を学ぶ自然学校を開催します。平成25年8月17日（土）～18日（日）開催予定
こどもエコクラブ	環境課	子ども自身の興味や関心に基づき、自然観察やリサイクル活動など、地域の中で身近にできる環境活動に対し支援を行うことを通じ、子どもの健全育成を図ります。	平成24年度の実績はありませんでした。	-	平成25年度も実施の予定はありません。
保育所における世代間交流事業（保育所地域活動事業）	こども課	保育所の実情にあわせて、地域住民との世代間交流を実施します。	地域の実情に合わせて、近隣住民の協力を得ながら、保育所ごとに、入所児とのふれあいを通して、世代間の交流を図りました。	-	平成25年度においても、地域の実情に合わせて、世代間交流に努めます。
子育てグループ活動における世代間交流	こども課	子育てグループ活動において、世代間交流を促進していきます。	子育てサロンや親子クラブ等の活動の中で、地区主任児童委員・愛育委員・栄養委員等と連携して世代間交流の機会を提供しました。	-	今年度も継続して、地区の実情に合わせて、地域住民の協力を得ながら世代間交流を図るよう支援します。また、子育て王国そうじやまちづくり実行委員会事業で、「家族であそぼ」という事業を実施し、祖父母と孫世代の参加を促します。
水辺の楽校での体験活動の実施	生涯学習課	水や水辺に親しみ、親子のふれあいや児童・生徒の健全育成を図ります。	「カヌー教室」を開催し、親子のふれあいや児童・生徒の健全育成を図りました。	-	継続して、水や水辺に親しみ、親子のふれあいや児童・生徒の健全育成を図ります。
オータムフェスティバルの開催	文化課	勤労青少年ホーム利用者による音楽などの発表会を開催します。	勤労青少年ホーム利用者による音楽発表会を開催しました。平成24年11月4日に開催、入場者数200人	100,000	勤労青少年ホーム利用者による音楽などの発表会を開催します。平成26年1月26日（日）開催予定

基本目標5 子育てを支援する生活環境の整備
基本施策1 子育てに配慮した住環境・安全な環境の整備

重点事業		平成24年度進捗状況			
事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
子ども連れ客への配慮	こども課	「子育てバリアフリーマップ」を活用し、商業施設等に対して、子ども連れ客に配慮したサービス意識の向上を図り、授乳室や子ども用トイレなど設置の促進を図ります。	「赤ちゃんの駅」の登録施設を民間施設へも拡大し、10施設の登録しました。	-	今年度も引き続き、民間登録施設への拡充に努めます。
都市公園の整備	都市計画課	子どもがのびのびと安全に遊べる公園の整備を行います。	平成24年度の実績はありませんでした。	-	平成25年度も実施の予定はありません。

一般事業		平成24年度進捗状況			
事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
保育所遊具など整備事業	こども課	遊具の整備、拡充に努め、保育環境の充実に努めます。	施設を利用する児童の安全確保のため、定期的に遊具等の点検を行うとともに、安全規格に合わせるための改修も行いました。	-	施設安全計画に基づき、定期的な遊具点検・安全確保に努めるとともに、保育環境の充実に努めます。
ユニバーサルデザインを取り入れた施設整備	こども課	障がいのある子どもを含めたすべての人が安全・快適に利用できるよう公共施設のユニバーサルデザインを推進します。学校施設の増改築時にはユニバーサルデザインに留意して実施設計等を策定します。	車椅子、ベビーカーなどでも安全・快適に利用できるよう公共施設のユニバーサルデザインを推進しました。	-	障がいのある子どもを含めたすべての人が安全・快適に利用できるよう公共施設のユニバーサルデザインを推進します。
	庶務課		総社中学校にエレベーター棟を整備しました。総社中学校改築校舎はエレベーター、多目的トイレ、スロープを整備しておりH25年7月末完成予定です。また、市内校園のトイレを洋式便座に多数改修しました。	-	総社中学校改築校舎にエレベーター、多目的トイレ、スロープを整備します。
	生涯学習課		公共施設の改修工事や修繕においてユニバーサルデザインを推進しました。	-	継続して、公共施設の改修工事や修繕において、ユニバーサルデザインを推進します。
安全な環境の整備	地域応援課	安全な環境を推進するため、各種交通安全施設、自転車歩行者道、水路及び遊具などを点検整備します。	車両や歩行者の通行の安全を図るために、防護柵やカーブミラーなどの交通安全施設の設置・修繕を行った。	15,153,505	地元からの要望に基づき、交通安全施設の設置・修繕を行います。平成25年度 当初予算：15,754,000円
	土木課		平成24年度の実績はありませんでした。	-	平成25年度も実施の予定はありません。
	都市計画課		職員により年4回以上遊具等の施設の点検を行い、不具合箇所を洗い出し、修繕計画を立案、その計画に基づき修繕を実施した。	2,169,123	引き続き点検を行い、修繕計画に基づき修繕を実施し、安全安心な公園管理を進めます。

目標指標		平成25年度実施予定			
項目	担当課	現況（平成21年度）	平成24年度進捗	平成25年度実施予定	平成26年度目標
都市公園の整備	都市計画課	整備を検討	0か所増設	0か所増設	1か所増設

基本目標6 職業生活と家庭生活との両立の支援

基本施策1 仕事と子育ての両立の支援

重点事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
次世代認定マーク“くるみん”の取得の推進	こども課	市内すべての事業主に対して、一般事業主行動計画の策定を啓発し、次世代認定マーク“くるみん”の取得を推進します。	一般事業主行動計画が義務化されたことを周知し、“くるみん”の取得を推進しました。	-	市内すべての事業主に対して、一般事業主行動計画の策定を啓発し、次世代認定マーク“くるみん”の取得を推進します。

一般事業

事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
「そうじゃ家族の日」の啓発	こども課	子ども条例に基づき、毎月第3日曜日の「そうじゃ家族の日」は、子どもを囲んで、家族がともに語り合っただけでなく、家族のきずなを深める日とする意図の啓発を図ります。	携帯写真コンテストを開催し、普及啓発に努めました。また、ポスターや広報そうじゃ、メール配信サービスなどにより啓発を図りました。	-	携帯写真コンテストを開催し、普及啓発に努めます。またポスターや広報紙、ケーブルテレビ、メール配信サービスなどさまざまな媒体により、機会を捉えて啓発を行います。また、家族のきずなを深める機会を提供するため、子育て王国そうじゃまちづくり実行員会事業を第3日曜日に開催します。
労働者・事業主への広報・啓発活動の実施	商工観光課	仕事と出産・育児の両立が可能な職場づくりに向けて、企業に対して長時間労働の是正、育児休業や有給休暇の取得促進、子育て後の再就職システムの確立などに関する理解と協力を求めるための啓発、広報活動を実施します。	パンフレット及びポスターにより広報を行いました。	-	仕事と出産・育児の両立が可能な職場づくりに向けて、企業に対して長時間労働の是正、育児休業や有給休暇の取得促進、子育て後の再就職システムの確立などに関する理解と協力を求めるための啓発、広報活動を実施します。
求職者就労者支援セミナーの開催	商工観光課	求職者を対象として、厳しい雇用環境に対応するための有効な情報を発信し、受講者が厳しい雇用環境に適応できることを目的としたセミナーを開催します。	パンフレット及びポスターにより広報を行いました。	-	求職者を対象として、厳しい雇用環境に対応するための有効な情報を発信し、受講者が厳しい雇用環境に適応できることを目的としたセミナーを開催します。
若者を対象とした就労支援	商工観光課	求職中の若者を対象にした就労支援を行います。	●総社市新規大学等就職面接会 平成24年8月9日（木）実施 参加者150名 ●高卒者等就職フェア 平成24年11月15日（木）実施 参加者70名	318,840	●総社市新規大学等就職面接会 平成25年8月9日（金）実施予定 ●高卒者等就職フェア 平成25年11月12日（火）実施予定

目標指標

項目	担当課	現況（平成21年度）	平成24年度進捗	平成25年度実施予定	平成26年度目標
次世代認定マーク“くるみん”の取得の推進	こども課	0社	0社	-	3社

基本目標7 子どもの安全の確保

基本施策1 交通安全対策の推進

一般事業		交通安全対策の推進			
事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
交通安全指導の充実	人権・まちづくり課	交通指導員が交通安全教育と街頭指導を行います。また、保育所・幼稚園・学校において、交通に関する突地指導、講演、映画などによる交通安全指導を行います。	保育所26回、幼稚園50回、小中学校17回の交通安全指導を実施しました。	-	交通指導員が交通安全教育と街頭指導を行います。また、保育所・幼稚園・学校において、交通に関する突地指導、講演、映画などによる交通安全指導を行います。
通学指導員の設置	庶務課	通学指導員が児童・生徒の登校時の交通指導を行います。通学指導員の数を維持していくとともに、必要に応じて適正な配置を検討します。	市内4小学校の通学路で5名及び1幼稚園で1名、計6名の通学・通園指導員が交通指導を行いました。	-	引き続き、通学指導員の人数を維持していくとともに、必要に応じて適正な配置を検討します。

基本施策2 防犯活動の推進

一般事業		防犯活動の推進			
事業	担当課	実施内容	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定
防犯灯設置費補助金の支給	人権・まちづくり課	町内会の団体などを対象に防犯灯の設置費を補助します。	町内会の団体などを対象に、新設57基、器具交換116基の防犯灯設置費補助をしました。	3,170,850	町内会の団体などを対象に防犯灯の設置費を補助します。
防犯連合会への支援	人権・まちづくり課	総社警察署管内で組織する防犯連合会に対して助成を行います。総社警察署管内の各種防犯団体の連携を図り、自主防犯活動を推進していきます。	総社警察署管内で組織する防犯連合会に対して助成を行いました。	2,486,000	総社警察署管内で組織する防犯連合会に対して助成を行います。総社警察署管内の各種防犯団体の連携を図り、自主防犯活動を推進していきます。
暴力追放推進連合会への支援	人権・まちづくり課	総社警察署管内で組織する暴力追放推進連合会に対して、暴力を追放し明るく住みよい地域社会づくり活動に対する助成を行うとともに、暴力追放意識の高揚を図ります。	総社警察署管内で組織する暴力追放推進連合会に対して助成を行いました。	337,000	総社警察署管内で組織する暴力追放推進連合会に対して、暴力を追放し明るく住みよい地域社会づくり活動に対する助成を行うとともに、暴力追放意識の高揚を図ります。
保育施設や幼稚園及び学校の危機管理整備事業	こども課	火災への対応、部外者の侵入を防止するなど安全に配慮し、危機管理に対応した設備の整備を促進します。また、各幼稚園に非常時の通報装置を設置するなどの対策を講じます。	各施設において、避難訓練等を実施するとともに、多様な危機管理に対応すべく、マニュアルを作成して対策を講じました。	-	平成25年度においても、あらゆる危機状況を想定し、管理体制の充実を図ります。
	庶務課		平成24年度の実績はありませんでした。	-	施設整備については困難な場合が多いですが、可能な範囲で対応します。
登下校中の防犯ボランティアの育成	学校教育課	市民と行政が相互に連携し、登下校中の子どもの安全を守る活動を推進します。また、見守り活動に取り組む防犯ボランティアと学校、教育委員会相互の連携も図っていきます。	市民と行政が相互に連携し、登下校中の子どもの安全を守る活動を推進しました。	146,790	市民と行政が相互に連携し、登下校中の子どもの安全を守る活動を推進します。また、見守り活動に取り組む防犯ボランティアと学校、教育委員会相互の連携も図っていきます。
	生涯学習課		地域の見守り活動等を行っている「雪舟スクールサポーター」に登録していただき活動を実施しました。		継続して、関係機関と連携を図りながら、見守り活動を実施します。
子ども避難所支援事業	学校教育課	公民館及び教育委員会等の施設について子どもの避難場所として職員に周知していきます。また、学校や保護者、地域と連携しながら、子ども避難所の設置を推進します。	公民館及び教育委員会等の施設について子どもの避難場所として職員に周知していきます。また、学校や保護者、地域と連携しながら、子ども避難所の設置を推進しました。	-	公民館及び教育委員会等の施設について子どもの避難場所として職員に周知していきます。また、学校や保護者、地域と連携しながら、子ども避難所の設置を推進します。
	生涯学習課		公民館及び教育委員会等の施設について子どもの避難場所として職員に周知しました。	-	継続して、地域と連携しながら、子ども避難所の周知を図ります。

目標指標

項目	担当課	現況(平成21年度)	平成24年度進捗状況	平成24年度決算額	平成25年度実施予定	平成26年度目標
交通安全指導の充実	人権・まちづくり課	保育所・幼稚園・学校において、交通安全指導を実施	保育所26回、幼稚園50回、小中学校17回の交通安全指導を実施しました。	-	保育所・幼稚園・学校において、交通安全指導を実施します。	保育所・幼稚園・学校において、交通安全指導を年に複数回実施